

事務事業名		市税等の徴収事務			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	0:8: 自立した行政経営の確立			事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業		
	施策名	3:5: 健全な財政運営の推進							
	基本事業名	0:1: 安定的な財源確保			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和25 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入				
所属	根拠法令	地方税法等			全体計画 (期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業内訳 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0				
	部課名	総務部税務課							
	係名	収納係	電話	27-3111					
			内線	161					

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) 滞納者への督促状・催告書・電話催告、自宅訪問による納税指導及び滞納処分等を行った。特に催告は回数と内容を充実させ、徴収強化期間には全部課長等による納税指導を実施。若手県地方税特別滞納整理機構の協力で滞納整理に取り組んだ。 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 前年度の活動に加え、震災により被災した滞納者の生活・経済状況の把握に努めて、徴収猶予等の適用を図るとともに、被災していない滞納者に対しては、若手県地方税特別滞納整理機構へ派遣した職員を中心として、滞納整理を推進する。		名称 ア 督促状の発送 イ 個別納税指導 ウ	単位 枚 件
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市税等の滞納者及び滞納額		対象指標 (対象の大きさを表す指標) 名称 カ 滞納者数 (年度末現在: 現年度5.31、滞繰3.31) キ 滞納額 (年度末現在: 現年度5.31、滞繰3.31) ク	単位 人 千円
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 市税等の滞納者及び滞納額が減少する。		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 名称 サ 滞納者に係る対前年度比較 シ 滞納額に係る対前年度比較 ス	単位 人 千円
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 自主財源の確保を図る。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度							
			17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)		
総事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円								
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	8	8	8	8	8	7	
人件費	延べ業務時間	時間	17,226	17,279	17,740	18,330	16,520	15,453		
	人件費計 (B)	千円	68,904	69,116	70,960	73,320	66,080	61,812		
トータルコスト(A) + (B)		千円	68,904	69,116	70,960	73,320	66,080	61,812		
活動指標	ア	枚	25,907	27,523	27,859	26,679	25,874	26,132		
	イ	件	4,311	3,633	2,622	2,483	2,650	2,383		
	ウ									
対象指標	カ	人	2,551	2,642	2,579	2,598	2,941	2,471		
	キ	千円	657,958	671,963	692,245	701,422	716,524	499,406		
	ク									
成果指標	サ	人	351	91	63	19	343	470		
	シ	千円	41,098	14,005	20,282	9,177	15,102	217,118		
	ス									

事務事業ID	0039	事務事業名	市税等の徴収事務
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和25年に地方税法が制定されたことをきっかけに開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 国内経済は長引く景気低迷と、世界経済全体が減速傾向を強めている影響で、依然として厳しい現状にある。県内においては、県央部において持ち直しの動きが見られるものの、沿岸部においては、企業の経常利益は軒並み赤字となり、それに伴う雇用情勢の悪化、所得減少など、依然として深刻な状況が続いている。さらに、東日本大震災の被災により、市民所得の減少は避けられないほか、減免や徴収猶予等の法的措置の適用により、税込及び徴収率は大きく減少する見込みとなっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 議会では、収納率向上のための対策等について議論がなされており、積極的に自主財源を確保するよう話されている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] 滞納者と滞納額を減少させることが徴収率の向上につながり、自主財源の確保に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 市の自主財源の根幹であり、地方税法の規定に基づく市の固有事務である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] 滞納者については国税徴収法第2条第1項第9号に定義されており、滞納額(滞納繰越分の調定額)は決算書の数値に基づいているので、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 震災の影響が懸念されるものの、滞納者に対する各種調査や滞納処分をより効率的に行うことにより、成果の向上が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 廃止・休止した場合、地方税法及び大船渡市税条例の規定に違反するとともに、自主財源の確保ができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 地方税法及び大船渡市税条例の規定に基づいており、他に手段はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 事業費を計上していないので、この欄は該当なし。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 徴収に関する専門的な研修を積み重ねることや、滞納整理システムの改善等により、滞納処分等の事務処理に係る所要時間を短縮するなどの効率化が考えられる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 地方税法及び大船渡市税条例の規定に基づく事務であり、公平・公正である。

事務事業ID	0039	事務事業名	市税等の徴収事務
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>全体としては概ね適切な事務であるが、自主財源と税負担の公平性を確保するためには、滞納整理システムの導入による滞納処分等の事務処理の効率化や人員増による徴収体制の強化・充実に図る必要がある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・現行の滞納整理システムの機能不足により、滞納整理事務の処理効率が上がらない状況となっていることから、これを改善するためのシステムを導入する。 ・より効率的な滞納整理事務を行うため、職員の増員をはじめとして、職員の専門研修や納税指導方法の改善、滞納処分の強化等を行う。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者個々の状況を的確に把握し、迅速かつ適切に対処するため、滞納整理システムを導入する。 ・滞納整理事務に係る研修に積極的に参加し、専門知識の習得に努める。 ・職員の増員について人事担当課に要望していく。 ・滞納処分強化のため、岩手県滞納整理機構との連携をより密にし、徴収技術の向上を図るとともに、機構への職員派遣を継続する。 																						

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	総務部税務課長
-------	---------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>滞納整理システムの改修を図ることで時間外勤務の縮減等が期待できる。 岩手県地方税特別滞納整理機構の設立と加入により、徴収技術の向上が図られており、各種研修機会にも積極的に参加し、新しい知識等も身につけてきており、充実しつつある。 適切な事務執行がなされている。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現状どおり継続して事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営進会議等での指摘事項
